

吉島福祉だより

発行 吉島学区社会福祉協議会
発行責任者 会長 平本 祐二
発行年月日 令和4年(2022年)10月吉日

ひろしま国際平和文化祭 広域連携シンボルイベントin中工場

「好きじゃけん!よしじま!!」「吉島音頭」を披露 よしの会 晴れ舞台

8月27日(土)28日(日)環境局中工場裏には、海に向かって特設ステージが設置された。それを広く囲むようにたくさんのブースも設けられた。吉島地区のブースでは、連合女性会と民児協「子ども食堂」が出店した。女性会は、おむすび、かき氷、飲料水を販売。子ども食堂からは、奉納された折り鶴の再生紙で作った手帳やジュースを販売。おまけつき魚釣りゲームで小さい子ども達も楽しんでいた。

28日(日)のお昼過ぎ。特設ステージに連合女性会の協力を得て総勢21名が真っ赤なハッピー姿もあでやかに「吉島音頭」で踊りながら入場した。青い空に真っ赤なハッピーが良く似合っていた。続いて「好きじゃけん!よしじま!!」では、鳴子を振って賑やかに踊った。2曲とも吉島を強くアピールした曲。お稽古のかがあってよく揃っていて、地元の応援などあり、盛り上がった舞台となった。よしの会の晴れ舞台となった。(次ページに関連記事あり)



「よしの会」って どんな会??

私達が住んでいる町「吉島」は比較的新しい町です。伝統的な賑わいや行事の少ない町です。そうした事から幅広い世代間の交流や行事参加へのきっかけ作りになればと考えてできたのが「よしの会」です。先ずは新しい歌と踊りと和太鼓伴奏で「好きじゃけん！よしじま！！」ができました。今まで、学区内行事、ひろしま盆ダンス、もみじ作業所祭り、今回のひろしま国際文化祭中工場ステージ等でも披露しております。

今回和太鼓は参加しませんでした。これからは伴奏だけでなく和太鼓独自の演奏もやりたいと考えています。その足掛かりとして7月9日には創作和太鼓体験会も開催し20名の参加があり、大変嬉しく思ったところです。町内会の掲示板などで活動を発信しますので是非参加してみてください。未だコロナ禍にあり今後の活動もままならない状態ではありますが、「吉島をもっと元気に」をモットーとして頑張りますので、引き続き皆様方のご指導をお願いいたします。

吉島学区よしの会会長 篠原紀喜

おじゃまします

#8



戦争はやっちゃあいけん！絶対に！



今回は吉島西1丁目にお住まいの重森春子さん(91歳)をお訪ねしました。広島に原爆が投下されて77年。被爆されたときの様子をお聞きました。

重森さんは鈴ヶ峰高等女学校(井口)に在学中、8月6日いつものように吉島の自宅を出て己斐駅まで歩き、電車で鈴ヶ峰に到着、学校に向かっていたところで原爆に遭われました。振り向くと真っ黒い煙が立ち上り、マツタケのような雲が見え、まさに

「きのこ雲」だったそうです。

ここからは重森さんのお話をそのまま使わせていただきます。

8月6日は市内には入れず廿日市の避難所に行くと、背中にけがを負った近所のみよちゃんに会い、抱き合って泣きました。避難所では、運ばれてきた人の名前を書く手伝いをしましたが、書いた端から亡くなられていきました。

8月8日には市内に入りましたが、線路の枕木のように死体が並んでいました。体中のあちこちにピンポン玉のような腫れがある人もいました。土橋の馬車組合の馬の目は飛び出していました。

自宅は、屋根は吹き飛ばされたものの、刑務所の塀が爆風を遮ったためか、かろうじて残っていました。しかしそれからが大変でした。食べるものを探して歩き回る毎日でした。ご飯を食べたらすぐに次のご飯はどうしよう?と考えていました。家族が多かったので調達が大変で、配給があると聞けばどこにでも飛んでいきました。食べるものがないことは本当に困りました。原爆資料館の改装に当たって、被爆ろう人形が撤去されましたが、あれは残しておくべきではないかと思えます。現実をもっと残酷だったのだから…

最後に重森さんに後世に伝えたいことはありますか?とお聞きしました。

「戦争はやっちゃあいけん！絶対に！」と何度も言われました。

吉島をきれいな町に！

☆太田川クリーンキャンペーン



7月24日吉島公民館裏に8時30分集合。各町内を中心にゴミ拾い、草取りを行った。約90名の参加があった。初めて参加した播野彪雅くん(吉島小6年)美月さん(同5年)は「町をきれいにすることを楽しみにしていた。やってみて楽しかった。」と話した。

またこの掃除で光南町バス停あたりにゴミが溜まっているとの報告があった。そこで光南2丁目の会長さんから「近いうちに光南2丁目の清掃日があるのでついでにやりましょう。」とのありがたい申し出があった。

☆光南2丁目清掃活動



8月20日光南2丁目清掃の日。5~6人の方がバス停付近を清掃されていた。その中のひとり藤本さんはあまりのゴミの多さに「これはひどい！」とあきれた顔。「たくさんの人に清掃に参加してもらったら、ゴミのポイ捨てがいけないことだとわかるんじゃないですかね？」とも言われた。確かにそうかもしれない。ゴミは決められた日に決められた場所に出すことを厳守してほしいものだ。

～*～ 新任のごあいさつ ～*～

新任のおふたりには、堅苦しい挨拶は抜きにして「好きなこと、楽しみにしていること」をお願いしました。

「ブロードウェイでミュージカルを観劇！」



ミュージカルが好きな私は、若かりし頃、ブロードウェイで、個性豊かな猫たちの物語「キャッツ」、そして、ディズニーの「美女と野獣」を観ました。

英語に自信がないため、歌とダンスが主な「キャッツ」はいいとして、問題は「美女と野獣」。でも、ストーリーを知っているせいか、観ているとセリフが何となく分かった気になり…。とは言い、周りが爆笑しているのに、笑えず…。

舞台上に目を遣ると、日本と違い、「キャッツ」では、子猫ではなく大きな猫たちがウロウロ。「美女と野獣」では、肉襦袢をまとった悪役のガストンではなく、ガタイのいいガストンが登場。また、客席では、やつつけられる悪役を見て、観客が床を踏み鳴らして歓喜。日本では見たことのない光景でした。

観劇中、英会話ができたらいいなと思ったものの、英語がペラペラでなくてもチケットを購入できたし何とかなったということで、未だに英語が身に付いていない私です。

吉島公民館 館長 上野明美

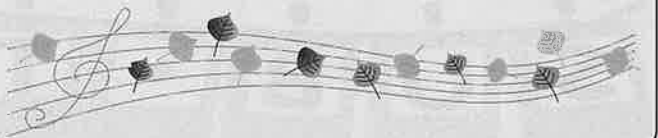
「子育ては難しい」



吉島学区子ども会会長の藤岡です。勉強嫌いな中学3年生の長男、頑固王子の小学6年生の次男、ワガママ姫の小学4年生の長女、そんな子ども達と対等にやり合う妻と、それを見て何もせずゴロゴロと過ごしている私の5人家族です。

子ども達との日々の格闘に、まだまだ悪戦苦闘中ですが、よろしくお願ひいたします。

吉島学区こども会 会長 藤岡直道



第14回ペットボトルロケット競技会 3学区合同(仲島、吉島東、吉島)

8月最後の日曜日の28日、吉島小学校にてペットボトルロケット競技会が行われた。吉島小体育館に3学区の参加児童とその保護者、青少協役員、子ども会役員の方々が集まった。

ロケットの作り方を教えてもらったらず速製作に取りかかり、保護者との共同作業に会話も弾んでいた。その後グラウンドに移動し、いよいよロケットの発射となる。ロケットが勢いよく飛ぶと「やったあ！飛んだ！」と歓声上がる。ドラコン賞の記録は100メートル以上飛び、またうまく飛ばずに、すぐ近くに落ちるニアピン賞もあった。楽しい体験をして、みんな笑顔のうちに無事終了した。

一連合女性会一 折り鶴で平和を祈る

3月27日高架下の花の植え替え、草取りを行った。

この日、8月に行われる「ひろしま盆ダンス」のオブジェ制作のための折り鶴を持ち寄り、後日中区役所に寄贈した。



一学区老連一吉島学区 ペタンク大会 グラウンドゴルフ大会

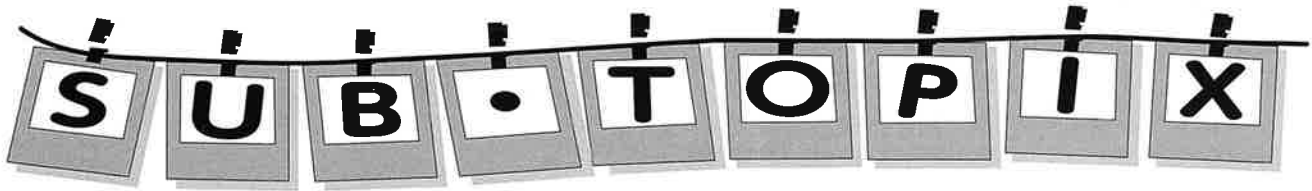
吉島学区では、8月8日ペタンク大会、8月24日グラウンドゴルフ大会が行われた。それぞれの上位入賞者は、中区大会に出場する予定。頑張ってきてください。



ペタンク



グラウンドゴルフ



「気くばりネット吉島」運営委員会 (高齢者地域支え合い事業)

「気くばりネット吉島」が発足して6年。3か月に一度くらいの割合で運営委員会を行っている。今回は7月23日に行われ、吉島地域包括支援センター担当者、各町内会の会長、老人会、民生委員、福祉推進委員、社協事務局が参加し様々な情報交換を行った。



災害の記録から学ぶ

8月19日吉島サロンで広島市危機管理課災害予防課小柳さんから災害についてのお話を聞いた。今までの災害の記録の写真を見ながらの説明で改めて災害の怖さを感じた。災害に遭われた方は口をそろえて「こんな災害は初めて」と言われる。そうならないためには、最新の情報をもとに早いうちに判断し行動することが大切。日ごろからご近所さんとも会話しておくことが大切ですよと言われた。吉島西3丁目の出井さんは「いい話を聞いた。改めて避難場所などを確認しておかないといけんね。」と話す。



「気くばりネット吉島」にぜひご登録を!

緊急連絡先等を登録、日頃のお付き合いを通じて、見守りや声掛けを行い、緊急時にはスムーズに支援につなげていくネットワークです。

吉島地域包括支援センター
(082)545-1123

編集後記

コロナの先行きが見通せない状態ではありますが、何かと福祉だより発行に至っております。

皆様のいろいろな活動を発信していきたいと思っていますので、ぜひ情報をお寄せください。 尾上眞弓